



米寿おめでとうございます

(本年度米寿をお迎えになられ、敬老のつどいにご出席いただいた皆様)



海陽町議会だより

9月定例会

発行 徳島県海陽町議会 TEL (0884) 73-4164
編集 広報編集特別委員会 E-mail gikai@town.kaiyo.lg.jp

Vol. **26** (2012.11)

おもな
内容

決算認定	2P
行政報告	9P
一般質問	10P
委員長報告	12P

平成23年度

決算認定

財政健全化への効果現れる

平成23年度の一般会計、特別会計などの歳入歳出決算認定の議案が提案され、私たちが納めた税金や、国・県からの補助金等がどのように使われたのかを慎重に審査した結果、すべて、原案通り認定しました。

財

政状況は、**実質公債費比率**9・1%
(前年度12・8%)・**経常収支比率**73・4%(前年度75・4%)であり、弾

力性の指標となります。これらの比率はいずれも改善されていますが、今後とも弾力性のある財政構造の確立と健全化に向けて、さらに最善の努力を望むものです。

町税をはじめとする自主財源の確保は、弾力的な町政の推進にとって極めて重要です。当年度の自主財源は13億891万

円で、歳入全体に占める自主財源の割合は16・4%となり、前年より0・8ポイント増加しています。徴収率は税目ごとにバラつきはありますが、前年度に比べて全ての税目でアップしています。

税の徴収率は、各課との連携や徳島滞納整理機構への参画によって、一定の成果を挙げており、一般会計歳入金の徴収率は2・85ポイントアップの88・32%となっています。しかし、今後の劇的な税収のアップは望めなく、

さらに効率的な財政運営が求められます。中長期的には地域経済の活性化を図ることににより、幅広い財源の確保に努力が望まれます。

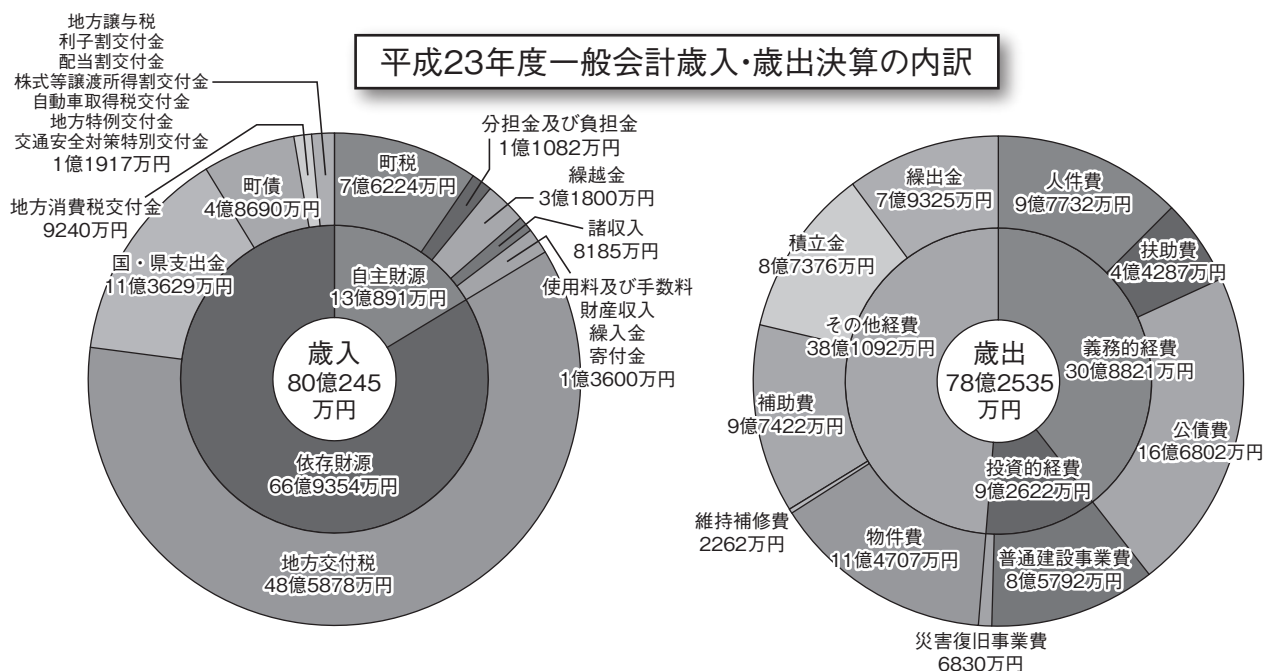
☆経常収支比率

人件費や借金返済、扶助費といった必ず必要な「固定費」の割合。数値が低いほど余裕があり、独自の政策のために使うことが出来る。

☆実質公債費比率

町の収支に対する借金返済額の割合を示す。通常、3年間の平均値を使用。18%以上だと新たな借入をするために国や都道府県の許可が必要。25%以上だと借入を制限される。数値が高いほど、返済の負担が重いことを示す。

平成23年度一般会計歳入・歳出決算の内訳



実質公債費比率は9.1%に

主な財政指標

(単位：万円)

項 目	平成21年度	平成22年度	平成23年度
地方債現在高 (借金残高)	100億3271	86億2469	75億5859
積立金残高 (貯金残高)	24億1738	34億873	40億4120
経常収支比率 (町のエンゲル係数)	82.8%	75.40%	73.4%
財政力指数	0.19%	0.18%	0.18%
実質公債費比率 (借金返済費の割合)	16.5%	12.80%	9.1%

経常収支比率は県内で
最も低い73.4%

※エンゲル係数…家計の消費支出に占める飲食費のパーセント。
エンゲル係数の値が高いほど生活水準は低いとされる。

一般会計・特別会計

(単位：万円)

歳入 80億245万円
歳出 78億2535万円
差引残額 1億7709万円

会 計 別	歳 入	歳 出	差 引
一 般 会 計	80億245	78億2535	1億7710
国民健康保険特別会計	16億1082	15億7314	3768
後期高齢者医療特別会計	1億3885	1億3695	190
老人保健特別会計	—	—	—
介護保険特別会計	14億6674	14億4641	2033
浅川公共下水道事業特別会計	8731	8647	84
海部公共下水道事業特別会計	1億3164	1億2526	638
穴喰公共下水道事業特別会計	1億2907	1億2340	567
神野農業集落排水事業特別会計	1018	1000	18
川西農業集落排水事業特別会計	4458	4423	35
日比原農業集落排水事業特別会計	1044	908	136
漁業集落排水事業特別会計	2463	2402	61
川西簡易水道事業特別会計	2200	725	1475
海部簡易水道事業特別会計	7059	6998	61
中里簡易水道事業特別会計	451	213	238
川上簡易水道事業特別会計	1893	185	1708
鉄道経営安定基金特別会計	4089	4089	0
穴喰診療所事業会計	1億7132	1億5017	2115

平成23年度の企業会計については上水道・海南病院会計があり全会一致で認定された。

事業は安定！更なる耐震津波対策を！！

平成23年度上水道事業会計

事業収入	1億3554万円	(-363万円 対前年度)
事業費用	1億963万円	(+227万円 対前年度)
23年度純利益	2591万円	



水道配水管工事

当 年度末現在の月平均給水件数は4192件、月平均給水量は8万7430m³となっています。当年度の純利益は2591万8863円と黒字であり、自己資本構成比率は全国平均の64・86%を上回り69・04%と安定的に運営されています。

防災面からも、本年、国が示した津波浸水予想図を基に、災害時にも安定的な給水が確保できるよう、より一層の耐震津波対策を望みます。

平成23年度海南病院事業会計

事業収入	5億5694万円	(-5140万円 対前年度)
事業費用	5億8139万円	(-4736万円 対前年度)
23年度純損失	2445万円	

決 算の結果、約2445万円の赤字、累積では2億4257万円の赤字となっています。要因は、入院・外来患者数の減少で、特に入院病床利用率が90%を大きく割り込み、75%となったことが、経営悪化の大きな原因となっています。しかし、現実には町民の最終医療という大きな役割を担っており、地域ぐるみで、今後の運営を考えていく必要があります。

経営悪化は深刻だが、最終地域医療の

要としての役割は大きい



リハビリテーション科



海南病院

陳情・要望

- ・愛宕山、八幡神社（穴喰地区）避難所の整備等に対する要望書
- ・さば所（海南地区）の避難道の整備についての陳情書

議会では審議の結果、異議なく採択しました。

議会のうづき

7月1日から9月30日まで

7月

5日 議会広報編集特別委員会

12日 議会運営委員会

19日 議会全員協議会

19日 第2回臨時会

20日 県議長会本部役員会（徳島市）

27日 県議長会理事会・研修会（徳島市）

島市）

8月

9日 阿南安芸自動車道整備促進

期成同盟会（高知県田野町）

10日 徳島県町村会行政課題研究

会（徳島市）

10日 議員公務災害臨時会（徳島市）

9月

3日 議会全員協議会

3日 議会運営委員会

10日 第3回定例会（1日目）

10日 文教厚生常任委員会

10日 議会運営委員会

11日 産業建設常任委員会

12日 総務常任委員会

13日 第3回定例会（2日目）

20日・21日 国土交通省へ陳情

24日 議会広報編集特別委員会

27日 四国四県町村長議長大会（松山市）

山市）

28日 四国横断自動車道建設促進

期成同盟会（阿南市）

津波対策に



穴喰八幡神社避難路



浄福寺避難路

津波避難路
6000万円の予算
に1000万円追加
穴 喰八幡神社と浄福寺など、5カ所予定。
 当初6000万円の予算に、地区からの要望に対応するため1000万円追加します。



LED 太陽光照明

夜 間の避難所
 までの目印
 となり、避難所
 における明かりの確
 保ができます。電
 源は太陽光パネル
 からの電力により
 作動します。

避難所にLED照明
6カ所、520万円



備蓄倉庫

避難所の備蓄倉庫
設置に300万円
大 地震・津波に備え、毛布、水、ラ
 イト、ビニールシート、簡易トイ
 レ等を備蓄するための倉庫を4カ所設
 置する予定です。

子どもあゆみ条例 町の未来のために…

幼児英語教育&

小学生防災教育

6 月の子どものあゆみ条例制定に伴
 い、幼児を対象に英語教育や防
 災教育を開始することになりました。

英語教育の対象は3・4・5歳児
 で町内の幼保施設に指導者を派遣し、
 週1回30分程度の授業を行います。

将来、この子どもたちがコミュニ
 ケーション能力に優れ、英語も堪
 能であると誇れるようになってほ
 しいものです。今年度は、人件費
 85万3000円（講師1名）、教材
 等購入費50万円です。

防災教育は、町内の小学生を対象
 に行うことが決定し、食糧費2万円
 と機材借上料26万円です。「東日
 本大震災での釜石の奇跡」のよう
 に、学校での防災教育を徹底し、そ
 の子どもたちが家庭で一緒に話し合
 い、率先避難
 をしたおかげ
 げで子どもた
 ちは当然のこ
 と、保護者や
 学校関係者は
 殆どが無事で
 した。町の未
 来のために必
 要な予算です。



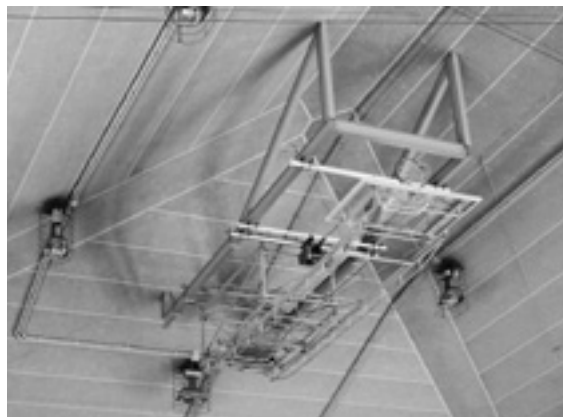
防災避難訓練（2011.12 まぜのおか）

県営鞆奥漁港改修事業 負担金 840 万円

鞆 奥漁港消波ブロック積増事業費 6000万円のうち、14%を海陽町が負担します。



バスケットゴール 修繕 75 万円



海陽中学校バスケットゴール

平 成3年に設置した海陽中学校体育館にあるバスケットゴール。電動巻き上げ式で7月に片方のモーターが故障、動かなくなっており、今回の補正予算で電動モーターを取り替えます。

蛇王運動公園ローラー 滑り台修繕 216 万円

摩 消耗したローラーやジョイント板を取り替え、子どもたちが安全に安心して遊べるよう修繕します。



ローラー滑り台

伊勢田川ファブリダム 修繕 200 万円



☆ファブリダムとは：
ゴム引布製のチューブで、空気や水を注入・排出することで、起伏させる堰。

老 朽化により、破損している部分を修繕します。

第3回定例会

議案の審議

平成24年第3回定例会は、9月10日開会、町長より次の13議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決され、13日閉会した。

注釈
↓ ↑
減額 増額

条例関係

- 暴力団排除条例
- 海部川風流マラソン振興基金条例
- 防災対策施設の設置及び管理に関する条例
- 防災会議条例の一部を改正する条例
- 災害対策本部条例の一部を改正する条例
- 災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例

予算関係

決算の認定について

- 平成24年度一般会計補正予算（第4号）
1億1243万円 ↑
- 平成24年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
3943万円 ↑
- 平成24年度介護保険特別会計補正予算（第1号）
1543万円 ↑
- 平成24年度浅川公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）
人事異動による予算振替
- 平成24年度上水道事業会計補正予算（第1号）
人事異動による予算振替
- 平成24年度海南病院事業会計補正予算（第2号）
983万円 ↑

9月補正予算後の歳入歳出予算

歳入	9月補正	補正後	構成比率	歳出	9月補正	補正後	構成比率
町税	0	6億7,617万2千円	9.1	議会費	0	7,937万5千円	1.1
地方譲与税	0	6,980万円	0.9	総務費	▲819万2千円	8億226万円	10.7
利子割交付金	0	290万円	0.0	民生費	▲296万円	16億5,287万8千円	21.5
配当割交付金	0	260万円	0.0	衛生費	881万円	5億4,637万2千円	7.3
株式等譲渡所得割交付金	0	55万円	0.0	農林水産費	2,978万8千円	5億4,927万3千円	6.7
地方消費税交付金	0	8,790万円	1.2	商工費	226万9千円	1億1,807万4千円	1.4
自動車取得税交付金	0	1,530万円	0.2	土木費	4,474万円	7億3,769万6千円	9.9
地方特別交付金	0	190万円	0.0	消防費	2,699万1千円	4億6,915万6千円	6.3
地方交付税	▲8,767万1千円	37億4,527万6千円	49.6	教育費	517万1千円	5億5,637万2千円	7.4
交通安全対策特別交付金	0	140万円	0.0	災害復旧費	481万3千円	1,724万9千円	0.2
分担金・負担金	117万6千円	9,625万6千円	1.3	公債費	0	10億2,289万8千円	13.7
使用料・手数料	0	5,175万4千円	0.7	諸支出金	100万円	10億1,591万円	13.6
国庫支出金	0	4億6,686万5千円	6.2	予備費	0	1,273万6千円	0.2
県支出金	2,214万5千円	4億2,494万1千円	5.7	合計	1億1,243万円	74億7,203万9千円	100.0
財産収入	0	4,257万4千円	0.6				
寄附金	100万円	1,280万円	0.2				
繰入金	163万3千円	10億6,977万1千円	13.5				
繰越金	0	1,000万円	0.1				
諸収入	424万7千円	7,133万円	1.0				
町債	1億6,990万円	7億2,550万円	9.7				
合計	1億1,243万円	74億7,203万9千円	100.0				

承認関係

平成24年度一般会計補正予算（第3号）

8571万円 ↑

議案の審議

平成24年第2回臨時会は、7月19日開会、町長より次の議案が提出され、審議の結果、原案どおり可決された。

第2回臨時会

経常収支比率は県下で一番低い

町長 五軒家 憲次



喜寿代表の西山君代さん（2012.10.14）

る。

現状では地震の予知はできない。なぜならば実験が出来ず、実証が困難である。しかし、本町で整備を進めている地震津波基盤整備システム等によって迅速に情報をキャッチし、対応をすれば、ある程度の判断をすることは可能である。

今回の東日本大震災により、地震学の崩壊という題目でテレビでも放送されたが、科学には限界がある。今回の公表を過度に恐れる必要はないが、適度に正しく恐れ、冷静・真摯に受け止め、大いに参考にしなければならぬ。

岩手県釜石中学校の生徒は臨機応変な対応をした。避難場所を次々に変え、高台へと逃げた。その

して小学生も一緒に連れて逃げた。普段の心がけ、備えがたくさんの人を救ったと言える結果である。

三陸地域で徒歩で逃げた場合、何メートルあったかという調査の結果、約500メートルであった。これを本町で基準にした場合、半径500メートルは、どれだけの避難場所・高台、また耐震化されたものはあるのか明示せよと指示している。整備されていないところがあれば、整備を進める方向である。

段々と避難場所整備等の要望がある。総合的、客観的に判断し、方向を出す。

昨年度の一般会計の監

査結果で、経常収支比率は県下で一番低い73%。公債費比率も9%で、県下で中盤程度。

今回の経費の削減、切るだけではない。一例、税務課の職員の徴収努力。多くの職員の刻苦勉励。汗をかけた結果である。

少々の基金は積んだが、起債残高が残っている。制度上返済できないのが残念である。

6月「子どもあゆみ条例」をつくり、中学校卒業まで医療費無料化をスタート。また保育所・幼稚園では、英語教育、防災教育を進めたい。我田引水ではない、客観的で個性ある発想を期待している。

第一次産業の振興も条例を制定して4年目に入っている。内外の環境、

諸条件から、ここ1、2年が生き残りをかける千載一遇のチャンスではないか。土台を築きたい。

8月9日、10日に三重県伊賀の里に委員、企業等が調査研究に行った。南部県民局の方も、今までにない積極的な姿勢が伺え、農業の母体である農協も「やります」という返事である。企業も可能な限り支援すると言ってくれた。ただ、要は生産者。「リスクも覚悟でやる」と言ってくれる生産者の方に期待している。

宍喰地区の保育所については、8月27日に地域の議員の意見を聞きたいということとで会を開いた。本年を含め、3年以内に統合する方向で結論を集約している。1年でも早く結果を出したい。

8月29日、国の地方防災会議から、南海トラフを震源とする巨大地震で、死者最大32万人以上という推定が公表された。ただし、地震後10分以内に全員が避難を始め、建物を耐震化100%にした場合、そ

の8割程度は無事であるとのこと。

今回の公表は、揺れや津波による人的被害と建物被害をまとめたもので、必ず起こる火災等は想定に含まれていない。政府によると、その公表は秋頃にするようであ

9

失業者に対し、町民税の減免をしては？



三浦 茂貴 議員

〈町長〉今の町条例で対応できる

問 町民税は、前年分の所得で計算されるため、解雇や倒産などで急に現在の所得がなくなつた場合は、その支払いのために生活の維持が困難になる。そのような人への町民税の軽減措置はあるのか。また、あるなら前年度の該当者は何人いたのか。

答 横税務課長

地方税法並びに海陽町税条例においても町民税を減免する規定はある。しかしながら、住民負担の公平性の観点から、減免の規定を適用する前に、納税者への対応として、納税相談により徴収猶予、納付期限の延長等を行い、できるだけ全ての方に納税していただけるように取り組むことが必要だと考えており、合併後にお

いては減免の該当者はいない。

問 国民健康保険では平成22年度より、職を失つたものが安心して医療にかかれるように、「非自発的失業者にかかる保険料の軽減措置」を設けている。海陽町で適応者は何人いたのか。

答 奥原保健福祉課長

平成22年度は45件、23年度は58件。

問 町民税も国保のような措置をとるべきであると思う。条例でも町長が必要と認めれば減免できるようになっているのか、考えを聞きたい。

答 五軒家町長

納税は国民の義務である。また、税目により内容が異なる。今の町条例で対応できると考えている。

原付のご当地ナンバーを導入してみれば？



海陽町のナンバー

問 原動付自転車は、海陽町でナンバープレートを交付している。現在の交付枚数は何枚あつて、一枚作るのにどのくらいのコストが掛かるのか。また、年間約何台の新規登録があるのか。

答 税務課長

交付枚数は全体で1043台分。(50cc以下・924台、50cc超え90cc以下・78台、90cc超え・36台、ミニカー・5台)コストについては1枚あたり278円となっている。

新規の登録台数については、過去3年で年平均43台の新規登録がある。

問 自治体が交付するナンバープレートは、市区町村でデザインを決定す

ることになっており、独自のデザインを導入している自治体もある。海陽町も、そのご当地ナンバープレートを取り入れてみれば、観光振興や知名度の向上も見込め、夜間走行にも安全なように反射シート加工などもすれば、事故を抑制する効果も期待できる。また、デザインを公募することにより、町内外から見た海陽町のイメージ、特色、特産などを知る良い機会にもなると思う。町長の考えを聞きたい。

答 町長

総合的・客観的に収支を判断すべきと考える。年間50台程度では、価値があるかどうか疑問である。



徳島市のご当地ナンバー

下水道整備計画時と現在の実情に 相違が生じているが、今後の方針は？



小山 慎 議員

〈上下水道課長〉見直しを行っていく



下水道工事

問 徳島県の汚水処理人口普及率は、10年連続で全国最下位となっている。本町の公共下水道工事は、向こう何年までの計画か。また、現在の進捗率はいくらか。

答 佐藤上下水道課長

穴喰処理区が最終で、平成31年度を予定している。また、進捗率については管路延長では、浅川・海部・穴喰処理地区全体で72%の進捗となっている。

問 総合計画の中で、土地利用状況や人口の動向など、

地域の実情に応じて整備を計画的に推進していくとしている。当初の計画時と現在の実情に相違が生じていると思うが、見直しを含めどうするのか。

答 上下水道課長

整備の最終段階では、人口減少など当初から年数が経っていることもあり、非効率エリアは最終局面において見直しを行っていく。

問 東日本大震災などの大さ地震で、マンホールの浮上現象など、液状化による下水道施設の被害が発生している。現状の施設の液状化対策は十分なのか。

答 上下水道課長

海岸・河川近辺の平野部では液状化の懸念がある。マンホール浮上については、埋め戻し土の入念な転圧、不良土については良質土置き換え、マンホールの重量化などの対策をしている。

問 液状化に対するマンホールの浮上被害を有効に防

ぐ対策として、重量化工法その他に、過剰間隙水圧消散工法がある。先の大震災でも被害が確認されておらず、工事が容易で施工費が安価であるといった特徴がある。ライフラインの減災という観点から、このような工法を新設・既設を問わず採用すべきと考えるがどうか。

答 上下水道課長

今後の施工において、地下水の高いエリアが部分的に出てくる可能性もあり、東北大震災を受けて、新しい技術の情報を得るとともに、そのノウハウを今後に活かしていきたい。

問 ライフラインである下水道機能を、被災後でも速やかに維持、回復していくといった観点で捉えた場合、上水道を含めた下水道施設に対する減災とは。

答 五軒家町長

防災・減災を問わず、即対応できるように進めなければならぬ。ライフラインは可能な限り、早くやら

なければならぬという信念は持っている。

スクールカウンセラーは 十分活用されているのか

〈教育長〉必要性が生じた時に相談

問 近年、いじめなどの問題行動が増加する中、悩みを抱えている児童生徒や、その保護者に対する助言・援助を行う心の専門家として、スクールカウンセラーが全国で配置されて

いる。本町の小・中学校において、何人配置されているのか。また、十分活用されているのか。

答 福井教育長

基本的には町内の1つの学校を拠点校とし、そこに1名のカウンセラーが配置され、各学校はカウンセラーの必要性が生じたときに相談する形態をとっている。海陽町には2名のカウンセラーが配置されており、(1名は地元の臨床心理士、もう1名は地元の学校の校長経験者)適切な助言や援助等、的確なカウンセリングが行われていると考えている。

問 保護者の間では、スクールカウンセラーに対する認知度に差が見受けられる。今後の対策は。

答 教育長

全体に十分周知徹底されているとは言えないが、今後、全保護者に向けて広報していきたい。

海陽町議会では、総務・文教厚生・産業建設の3常任委員会を設置しています。

本会議から付託された議案を9月10日、11日、12日に開催された各常任委員会で活発に審議をしました。

総務常任委員会

積立基金40億4120万円

委員長 池下 嘉郎

9月12日開会。宍喰・浅川から避難路整備等について要望書・陳情書が提出されていた現場を巡視した。

平成23年度普通会計決算額、歳入総額80億3903万円、歳出総額78億6193万円、地方債残高75億5859万円、積立基金残高40億4120万円であり、経

常収支比率は県市町村では一番低い73・4%。実

質公債費比率9・1%で、

前年より3・7ポイント

改善されている。行政が

一丸となって努力し、頑

張った成果である。

上水道、海南病院を

除く特別会計の平成23

年度は黒字であるが、

一般会計からの繰入が

6億1540万円であ

る。委員から、繰入金

は大きく、独立採算制に鑑

み、経営努力も必要であるとの意見があった。



さば所（浅川）避難路

条例の主なものは、海陽町暴力団排除条例。海部川風流マラソン振興基金として、前多田副町長のご遺族からの寄付金を積み立てる条例。

平成24年度一般会計補正予算歳入では、鉄道経営安定基金への積立に係

る過疎債ソフト分の発行など。歳出は消防費の津波避難路工事費の追加である。

付託されていた要望

書・陳情書について審議

し、宍喰・浅川の津波避

難路整備等は採択し、弁護士会、世界平和連合徳島連合会の2件は継続審議とした。

以上、所管の全ての案件について了承し、閉会した。

文教厚生常任委員会

海南病院に新任医師

委員長 長岡秀一郎

9月10日開会。町内3カ所の小学校を訪問し、防災教育、いじめ問題について、学校長より説明を受けた。

決算の認定については、

国民健康保険特別会計事

業勘定、施設勘定、後期

高齢者医療特別会計、介

護保険特別会計、海南病

院事業会計である。病院

事業については、医療収

益が平成22年、23年と減

少しており、平成23年は

2445万円の赤字決算

となり、起債の償還を考

えると、ここ数年苦しい

経営状況が続くとのこと

である。

海陽町災害弔慰金の支

給対象を拡大する条例の

改正。

平成24年海陽町一般会計補正予算に関して、町

産業建設常任委員会

二葉保育園裏避難路 補修1750万円

委員長 高島 武夫

修繕費である。

道路維持費工事請負費

9月11日開会。竹ヶ島

橋・二葉保育園を巡視。

一般会計補正予算の産業観光課所管の主なもの、農林振興費で「とくしま明日の農林水産業づくり事業」189万円は、就農・農地集積等支援事業として、有機質肥料散布機械整備の補助金である。委員から、散布機械の運営方式・管理者を決め、早急に対応をしてほしいとの意見があった。

建設課所管の主なものでは、農地費工事請負費295万円は、神野前地区農道舗装工事と、県単独伊勢田川ファブリダム

のことである。

大型機械借り上げ料として、農地費で50万円、農林水産業施設復旧費で200万円、公共土木災害復旧費で100万円を計上しているのは、6月

の台風や梅雨以降の大雨により、不測の予算を要し、今後に備えたいとのことである。審議の結果、所管の議案については承認することとした。



穴喰小学校

内幼保施設に指導員を派遣し、英語教育実施に135万円。町内小学校を対象とする防災教育機材借り上げ費26万円。那佐、穴喰斎場の修繕費36万円。穴喰小学校多目的ホール修繕費42万円。

海陽中学校バスケット機器修繕費75万円。

海南病院事業会計補正予算983万円は、新たな医師受入に伴う給料等である。

以上、提出された議案は全て承認した。

1600万円は、伊勢田地区の町道浅川大山線で、生活・迂回路として利用されているが、未改良区が1.6kmあり、舗装の損傷が著しく危険な箇所があるため、計画的に安全対策と舗装を実施したいとのことである。

砂防費工事費請負費

1750万円は、7月22日の集中豪雨で、二葉保育園の上の斜面が崩れ、避難路・防災計画の避難所となっている防護策の一部が被災し、今後さらに崩壊の危険があるため、早急に対応したいと



二葉保育園

みんなの広場 押し花アートクラブ薔薇

活動内容を教えてください。

年間 10 回程度作品展を開催（アスティとくしま、よんでんエネルギープラザ阿南、海南文化村他）

クラブ開設 15 年目、クラブ員 32 名（阿南から室戸市）、平均年齢 68 歳。

作品集“花いっぱいのにあわせ Vol. Ⅲ を来春発行予定。

海陽町のいいところは？

春夏秋冬、自然に恵まれているので、野の花等、押し花材料に事欠かない。



お元気な88歳の岡田さん



研修旅行（東京・国会議事堂前）



みんなで楽しく

海陽町に対する要望はありますか？

長年、三幸館ギャラリーを利用させていただいていますが、文化村の各施設を含めて、もっと多くの方にご来館いただける様、ご検討よろしく願いいたします。

議会だよりを読んでいますか？

議会の取り組みの様子がよく分かるので、毎回楽しみにしています。

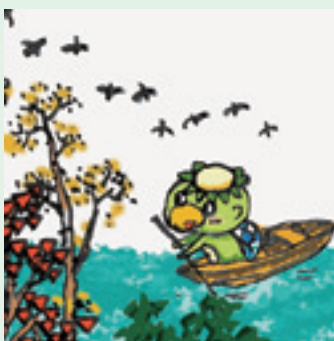
☆10月1日～11月30日まで、三幸館ギャラリーにて押し花展を開催中なので、是非ご高覧くださいませ。



アスティとくしま



三幸館ギャラリー（文化村）



議会広報編集
特別委員会
議会事務局
TEL
七三〇一六四

（長尾）

うか？「読者目線」を心がけてまいりますので、ご意見をお聞かせいただけたら幸いです。

う、努力していきます。

また今後の政局次第では憲法改正案から金融対策など、いろいろな面で変化が出てくると思います。それを見極めて海陽町が主体的に考え、我々にとって一番安心で安全で幸せを感じるまちとなるよう、努力していきます。

編集後記

今年の夏は雨がよく降り、トマトもナスも実がさけたり、いろいろな行事が延期・中止になったりなど、身近な事柄から尖閣諸島や竹島など、私たちの主権にかかわる問題でも大きな動きがあり、これがきっかけで戦後60年続けてきた、事なかれ主義外交が変わっていくような「風」を感じます。